

# 牛久でりんご?!

## 青森や大子にも負けない美味しさ!

問 農業政策課 ☎内線1513



牛乳と調味料以外すべて牛久産の食材を使った「牛久の日給食」。今年20日の牛久の日給食には、デザートに牛久産のりんごが提供されます。

子どもたちも毎年楽しみにしているこのりんごは、市内東部の「長沼りんご園」(島田町)のもの。酸味が少なく、シャリシャリ感と甘みが特長の「陽光」と「名月」約1,200個が市内公立小中学校・保育園で提供される予定です。

長沼さんのりんごの特長は、なんととっても実に袋をかけない「無袋栽培」。じつくり太陽の光を浴びて赤くなるまで待つので、とても甘く育つそう。また反射シートも敷かず、できる限り自然の恵みだけを利用するこだわりの農法です。

今回、丁寧りんごの品種や特長などを



教えてくれたのは長男の雅之さん。農業を営む仲間が増えるのが、一番の願いだと言います。

「農業は、力仕事とかわれがちだが、実際は違う。経営者であり、営業マンであり、科学者であり、時にはお医者さんになることも。いろんなことにチャレンジしてみたい人こそ、ぜひ一緒に農業をやってみてほしい」と熱く語ってくれました。



市内の男女共同参画に取り組む企業を紹介します

# うしく男・女図鑑

No.5



マルエス紙管株式会社筑波工場  
関口麻美さん

### 【企業データ】

マルエス紙管株式会社筑波工場  
従業員数/18人(うち女性が4人)  
※マルエス紙管株式会社は牛久市男女共同参画ネットワークに参加いただいています。

大学2年生の一人息子をもつシングルマザーの関口麻美さんは、「両親のおかげでここまで育てることができた」と子育てを振り返ります。息子が小学校から中学校までの9年間は仕事の傍らPTA役員も務め、会合に合わせて午後からの半日有給休暇を利用しました。また、日頃から業務の効率化を図り、定時で終業することを心掛けて、夕食を極力息子と一緒にとりながら、その日にあった事を話すなど、コミュニケーションを多くとってきました。

一方で、関口さんの育

児と仕事の両立を応援した妹尾晃専務取締役も夫婦共働きの中、2人の息子を育てました。職場のことは家に持ち帰らない父の姿をみて、息子も「同じ仕事をやりたい」と手伝ってくれるようになってくるとを照れくさそうに話されました。妹尾専務と関口さんは、プライベートなことも相談しあえる雰囲気の中で仕事に取り組んでいます。どんなことも話し合える職場の雰囲気こそが、従業員のワーク・ライフ・バランスを充実させる秘訣だと感じます。